

和泉短期大学「就職懇談会」アンケート集計結果(学生向け)

令和2年8月1日(土)

【印象に残ったこと】

No	内 容
1	・就職先を決める時は、自分自身でなりたい、したい保育に合っている保育所を探すこと。(2)
2	・「自分はどんな保育がしたいのか」「自分は子どもと関わる中で何を大切にしたいのか」をもう一度しっかり考え、キーワードを見つけていきたい。(5)
3	・先輩方の話で、就職先を決めた理由が自分と同じ状況なので、とても為になった。
4	・先生たちや子どもたちの雰囲気が良い園を選んだ。給与などで園を選んだ。 自分が大切にしたい園を選ぶと良い。土・日曜日でも仕事をするということはあまりなく、残業などもない。
5	・どのようにその園を決めたかの話。(3)
6	・人間関係について保護者対応やわからないことは先輩に聞いて、解決できることは安心できると思った。 自分から聞く(2)
7	・人間関係が大切だということ。(3)
8	・人間関係について、人の良いところを探して関わりと良好な人間関係を築けるという言葉が素敵だった。
9	・人間関係について実際に足を運んでみる。また、自分の気持ちの持ち方でも変わってくるということ。
10	・人間関係が不安だったため、園見学が大切になってくること。
11	・人間関係について聞いたこと。実際にどうなのか知ることができた。
12	・見学に行くことで園の雰囲気や先生の人柄、人間関係を見ることができる。(2)
13	・ホームページを見るだけでなく、園見学に行き実際に見ることが大切だと分かった。
14	・働いてみて、学んできたこととの違いや職場での人間関係について
15	・園を探す際に「自分が大切にしたいことを考えてほしい」というお話しがあり、そのように考えることが大切だと分かった。
16	・働き始めてから学ぶことが沢山ある。
17	・実際に働いてみないと、分からないことが多い。
18	・和泉の先輩方のお話しが非常に貴重なものだった。自分から見学に行き、自分に合った園を探したい。
19	・見学や体験をたくさんする。通勤時間を考える。慎重に就職先を決める。
20	・人間関係の中で、自分に合う人を探して楽しい保育ができるようにすること。(3)
21	・園見学を通して、1日体験をすることで、自分に合った園を探すことができること。(2)
22	・人間関係について、気の合う人と一緒に協力したり助け合ったりすると良い。(2)
23	・実際に足を運んで園の様子を知ることが大切だと分かった。人間関係をよく見るが必要だと感じた。(5)
24	・自分の好きなことや趣味を確立させる。学校で習ったことが全てではなく、職場に出てわかることを学ぶこと。 課題ができたりするという。就職するにあたって、験学で自分に合っていたり雰囲気で決めとても良い。
25	・得意分野を増やしておくことで、子どもたちとより良い関わりができるということが印象に残った。(6)
26	・相模原市内だけでも176の園があると知り、もっと多くの園を調べながら、自分に合った園を探していこうと思った。(6)
27	・認定こども園の数が思っていたより少なかった。
28	・園を決める時は園の雰囲気や子どもたちの姿など、複数の園を見るということ。
29	・園を探す際に「これだけは譲れない」という点をキーワードに探すこと。
30	・就職先を探す上で見ておいた方が良いところ。(2)
31	・園を選んだきっかけや卒業までの取り組みを聞き、「自分に向き合う」ということが大切なのだと感じ、自分を見つめた 上で何をしたいか、何が向いているのか合っているのか考えるという視点が印象的だった。
32	・苦手な人に合わせなくても良いとおっしゃったこと。(2) ・職場に逃げ道を提案して下さる方がいたら、安心して働けると思う。
33	・実際に働いている方々が口をそろえて見学・体験が必要と言っていて、大切なのだった。

No	内 容
34	・保育現場に出て不安なことも多い。一歩踏み出しているいろいろな事をやってみる。失敗も多いが、なぜ失敗したのか自分で考えたり、周りの先輩に聞いたりして改善していくことが大切である。
35	・相模原市の園のほとんどが協会に加盟しているため、幅広く自分のビジョンと園の方針が一致する幼稚園が見つかりやすい。
36	・就職活動のポイントを教えて頂けたこと。(見学・体験など)(2)
37	・就職後の保育者の日常を聞いて、生活がイメージできたこと。
38	・自分が選ぶ園について大切な事のお話が印象に残った。ボランティアや実習に行った園が印象強く残ってしまうので、自分はどのような園に行きたいのか明確にし、様々な園を見学したいと感じた。
39	・園見学の大切さ。園を見学するだけでなく、職場の雰囲気や子どもの様子を見るためにも大切だと感じた。
40	・園がたくさんあること。保育方法が様々であること。(2)
41	・園の選び方のところで、実際に行って見学することの大切さと注目ポイント。(3)
42	・幼稚園と保育園の違いについて教えていただいたこと。
43	・幼稚園で仕事をされていた先生が保育園に転職されて、現在楽しく保育をされていると聞き、経験することの大切さを感じた。
44	・二ノ宮先生が転職した理由
45	・幼稚園から保育園に転職されたという話を聞いて、違いがたくさんあるのだと気づくことができた。転職はあまり良くないと思っていたので、いろいろな自分の向上のためにすることも大切である。
46	・仕事をしても預かり保育で幼稚園に預けることができ、認定こども園であれば、仕事をしていなくても保育園に預けることができるという事。
47	・「園見学をし、良い園だと思ったら1日体験をすると良い」という先輩からの声。(2)
48	・園見学だけでも行ってみたい方が良いということなので、一日体験を積極的にしたいと感じた(2)
49	・自分が大切にしたい事を重視し、自分に合う園を見つけたい。(2)
50	・保育園を選んだ理由…体験に行った時の雰囲気や元々の目標
51	・園見学についてのアドバイス
52	・人間関係などを含めて見学・体験すると見えてくる。(2)
53	・仕事を続けていく上で園の方針によって選ぶことも大切だが、同じくらい人間関係も大切だと感じた。
54	・園は実習園だけに限らずいろいろな園があるので、自分に合った園をいくつか決めておく。
55	・自分に合った園を選ぶ。ボランティアや見学をすると良い。(2)
56	・実習園のイメージにとらわれることなく、自分に合った園を見学・体験を通じて探していくこと。(5)
57	・実習の時、1日に1つは質問をする。目標に向かって就職したところ。
58	・幼稚園よりも時間が長いので、仕事をする時間を考えて行動する。
59	・保護者と普段からたくさん話しておく、大切な話の時に話やすいということ。(2)
60	・苦手な人も必ずいるので、無理に気を遣う必要はない。
61	・幼稚園と保育園の差がなくなっている。。
62	・幼稚園と保育園の違いがなくなってきたこと。保育園希望だったが、少し興味を持つことができた。
63	・保育の方法はたくさんあるということ。子どもの初めてに出会える仕事。
64	・子ども成長を保護者の方と一緒に見ることができ、初めてのことに会うことができるという話。
65	・保護者との信頼関係を築くためには、まず子どもにしっかりと愛情を注ぐことが大切なこと。(2) ・休みの日はON・OFFをしつかり分けて、いろいろな刺激を受けることで保育にも繋がるということ(3)
66	・どうしようではなく、どうしたら良いのだろうという考え方にすることが大切だということ。(2)
67	・子どもが好きという気持ちは忘れないでほしいということ。(3)
68	・子どもが好きであることが、仕事への情熱や楽しみに繋がる。

No	内 容
69	・保護者対応を先輩に相談しながら、人間関係を築くことができる。
70	・保護者対応…先輩に少しずつ聞きながらやっている。
71	・仕事をしてみて、初めは大変だけれども、慣れてくれば大丈夫。
72	・保護者との距離を縮めておく大切さ(4)
73	・人間関係の部分で、うまく築いていくことの重要性。(2)
74	・挑戦していくことで、やりがいを感じられるということ。
75	・子どもに好かれれば、保護者にも自然と信頼してもらえる関係になれると思うということ。
76	・大きな集団の中の一人ではなく、一人ひとりと寄り添うことができるということ。
77	・「自分の中で譲れないことをしっかりと決めておく」という先輩の言葉(5)
78	・実際に働いた時の想定もしておく。
79	・先輩方の経験談を聞くことができ、職場のことが理解できた。
80	・どの様な就職活動をしていくべきなのかを聞いたこと。
81	・VTRに保育の方針が出てきて、「こんなにも種類があるのだな」と印象に残った。
82	・私もピアノが苦手で、大人数を見るのが得意ではないため、先輩のピアノが苦手で少人数が良いから小規模の保育園を選択したという話が印象的だった。
83	・自分の苦手なことがあっても、そこだけを見ずに、自分の得意なことを伸ばせる園を選ぶこと。
84	・学生だけでの学びは、まだごく一部のようなもので、働き始めたら研究会でレポートや話し合いで、さらに知識を深めていくようになるのだと思った。
85	・学びは学生時代では終わらず、現場に出ても学び続けるという事。
86	・コップにおまめを入れた子どもの話
87	・嫌なことがあっても、少し踏ん張ってみよう。
88	・児童福祉科に行ったからと言って、保育園・幼稚園に行かなければいけない訳ではないという話は、とても嬉しかった。
89	・社会の大変さや温かさを感じた。
90	・やりがいが沢山あるということ。
91	・サービス残業は少ないということがイメージと異なっていて印象的だった。(5)
92	・休日の制度(休みがしっかりとれる)(2)
93	・仕事を持ちかえることが多いと思っていたので、少ないと聞いて安心した。(12)
94	・苦手なことも働く中で無くせることもある。
95	・自分の好きな事が子どもに伝わり、心を動かすことができたというお話し。(2)
96	・園の様子を楽しそうに話している姿が印象に残った。良い雰囲気職場なのだと感じた。(2)
97	・皆、今の自分の職場に満足していることが話している内容などから伝わってきた。
98	・先生方の雰囲気が良いところが多い。男女関係なく、保育相談ができる。
99	・男女の保育士さん、それぞれの話を聞くことができ良かった。
100	・残業についても知ることで良かった。
101	・平日に休みがあるから、平日にしかできないことができる。
102	・給食が出るから、子どもたちと同じ食事ができる。
103	・ビデオがとても印象に残った。先生方がとても細かくお話しをして下さったこと。
104	・仕事内容や卒業生からの追加メッセージ
105	・条件で園を探すことは大事。実習で自身をなくしても諦めない。通勤するときの距離を前もって知っておくと通えるかどうかわかる。
106	・多くの保育方針の園があり、選ぶ選択肢が増えた。
107	・実習や体験でわからないことを知ることができた。

No	内 容
108	・ちょっとした小ネタを持っていること。
109	・最初に就職した園でキャリアを積んだ方が良い。
110	・保育をする上で譲れないことを考える。
111	・学生のうちに、やりたい事を沢山しておくが良い。(2)
112	・細かい就職先を決めることができていないため、自分の保育を考え「おすすめ園を教えてください。」と先生に教えて頂こうと考えた。一人ではなく、人に頼るのも大切。
113	・ホームページに載っている写真や方針を見た印象と、実際に見学した印象は異なる。(3)
114	・スライドを見ると、本当に園によって環境などが異なることに気づいた。
115	・それぞれ園について知ることができた。これからの就活について不安な事が多かったが、話を聞いて働くことが少し楽しみになった。
116	・最初は辛いこともあるが、自分なりのやり方を見つけることができると自信にも繋がる。
117	・「担任の先生がいい」と言ってもらえることに、担任をする上でのやりがいを感じた。
118	・男性保育士の現状
119	・働き方や休みの事など、リアルな話が聞けて良かった。(3)
120	・先輩方は一人ひとりに合った園を見つけていて、私もそういう所を見つけていきたい。
121	・新人研修について、先生(保育者)がどこまで仕事に充実感を持つことができるのか。
122	・保育のやりがいの話を聞いて、保育者だから得られるものを知ることができ、「楽しそうだな」という印象が強くなった。
123	・園の雰囲気や保育の仕方、保育者同士の関わりなどは、園見学や働いてみてから分かるもの。
124	・1年目は特に大変なこともあると思うが、その気持ちを忘れずに保育を楽しみたい。
125	・面接では、人柄・コミュニケーション力・熱意・やる気などを見ていることを知った。
126	・面接官が見る所や就職への心構えを聞くことができ、とてもありがたいと思った。
127	・先輩保育士の話を聞き、保育園に対して抱いていたイメージとは大きく違うと感じた。
128	・実際には働いている方々の話を聞けて為になった。
129	・挨拶が大切、マナー・コミュニケーション力、仕事に対する情熱が大切。
130	・対応に困った時の対処法
131	・採用試験でピアノ試験がない方が多い(3)
132	・保育にも様々な2種類の保育がある。
133	・卒業までにすることで、趣味を充実させるという話。
134	・保育に関係ない自分の趣味でも子どもに伝わり広がっていくことは良いなと思い、好きな事をしようと思った。
135	・自分が思っているよりも楽しそうで、安心して就職活動ができると思った。
136	・実習より職場で働き始てからのの方が充実してそうだと感じた。
137	・「仕事をしてみてどうか？」の内容が一番印象に残った。休日の取り方や仕事の取り組み方についても印象に残った。
138	・保育園で勤務してみたの先輩のお話し
139	・パネルディスカッション
140	・就職活動の準備について
141	・映像の文字がかわいかった。